

教育目標 「自ら きたえる」

意欲をもって学び続ける力・自分を豊かに表現する力・良好な人間関係を築く力



6/19(木)～20(金) 5年生 自然教室



新潟市立関屋小学校 学校だより

しおない

令和七年六月三十日

第369号

朝顔の生長と温故知新

校長 川又 健司

気が付けば、夏休みまであと一か月というところまで来ました。子供たちから聞こえてくる会話の中にも、夏休みの話題が少しずつ出てくるようになりました。

玄関前の一年生の朝顔も、順調に育っています。例年、朝の挨拶に立つ際に、「〇〇さんは、なかなか芽が出ないなあ」など、はらはらしながら生長を見て回るのですが、今年はどれもよく育っています。

もちろん、二十、三十あるものを見比べれば、より大きく生長しているもの、そうでないものはあるでしょう。でも、そんなことを心配する必要はありません。どれもやがて大きく生長し、たくさんの花を咲かせますから。

他と比べず、自分の朝顔の生長を喜びながら、お世話を続けることが大切です。そしてそれはまた、人間にも通じることではないかと思えますが、いかがでしょうか。

さて、話は変わりますが、先日の学校運営協議会（コミュニティ・スクール会議）で、学校敷地内の環境整備に、地域・保護者の力をもっと借りたら、という有り難いお話がありました。その手始めという訳ではないでしょうが、委員である田中さ

ん、吉田さんが中心となって、前庭の岩石園の草や木を刈ってくださいました。その後、緑化ボランティアの皆さんからお手伝いいただき、メインの岩が姿を現しました。

私も、五年もいて恥ずかしながらも、さすが、「岩石園で、もともとこんなだったんですね」と、感慨を新たにしているところです。

この岩石園は、創立百周年（昭和五十三年度）の記念事業として設置されました。創立百周年の記念誌によれば、ほかに、

- ・飼育小屋の設置
- ・古電柱活用による遊具施設の充実
- ・観察鑑賞池（前庭）の設置
- ・教材園の設置
- ・カラーテレビ・楽器等の充実

が行われたとあります。

記念式典や記念誌作成など、記念事業全体で五百万円という、一大事業だったようです。（当時の児童数は、七五四名とあります。）

今年は創立一四七年。近づく創立百五十周年に、とても当時のような事業は難しいでしょうが、まずは先人の願いに思いを馳せながら、今の時代に合った学校教育の充実に努めていきたいと思っています。

～ 5 年 自然教室 6月19、20日 in ゆいぽーと ～



5 年 1 組 H・H

自然教室の思い出はたくさんありますが、一番の思い出はキャンドルファイヤーです。真っ暗な体育館にろうそくの火がつくととてもきれいでした。スタンツの発表では、マジックを発表しました。成功したのでうれしかったです。クイズや劇、歌、ダンス、お笑いなどみんなの発表もとても面白くて大盛り上がりでした。

5 年 2 組 M・M

私が自然教室の活動で印象に残っていることは野外炊事です。同じグループの人と野菜の切り方を教えあったりお皿洗いを手伝ったりしました。そのおかげで、おいしいカレーを作ることになりました。このような経験から、協力することの大切さを感じることができました。

～地域・保護者 合同避難訓練 6月16日(月)～

新潟地震が発生した6月16日に合わせて地震の避難訓練がありました。地域や保護者の方も約40名が参加しました。グラウンドに避難した後、大津波警報が発令したという想定で屋上へ二次避難しました。全校児童が防災頭巾をかぶり、口を閉じてすばやく行動していました。



～体力テスト記録会 6月23日(月)～



【7月の予定】

- 1 日 個人懇談(～4日)
- 7 日 プール水泳開始
- 10 日 6年修学旅行(～11日)
- 22 日 給食最終日
- 23 日 夏休み前最終日
3時間授業
- 24 日 夏休み開始